

# ようこそ図書室へ

開室時間 《月～金》 9:10～18:20  
 《土》 9:10～13:50  
 休室日 日曜日、祝日、第2・第4土曜  
 ★変更があるときは掲示します。

貸出冊数 3冊まで

貸出期間 一般の図書・雑誌は2週間、コミックは1週間

- 貸出中の本は予約ができます(雑誌、コミックは除く)。
- 図書室にない本はリクエストができます。
- インターネット接続のパソコンが使えます。
- DVD は図書室内で視聴できます。
- 本を読むだけでなく、自習室として利用できます。
- 調べ物のお手伝いをします。気軽に声をかけてください。

授業が始まりましたが、新しい教室はいかがですか？

図書室が教室から遠くなったあ、近くなったあ、いろいろですが、新たな気持ちで、ぜひ、足を運んでください。

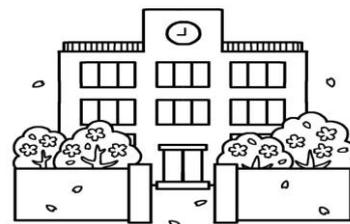
みなさんの利用があつてこそこの図書室です。

扉を開けて待っています！！文庫本の一部とコミックの棚を移動しました。本が見つからない時は、カウンターまで声をかけてください！！

図書委員会では、「3年間で100冊読もう！」を合言葉に『読書マラソン』を行っています。

本を1冊借りると1ポイント。給水ポイントとして20ポイント集めると500円の図書カードをプレゼントします。ぜひ、参加してください。

スタンプカードは再発行しています。紛失した人はカウンターまで！



## ☆図書委員からのオススメ☆

『ルーズヴェルト・ゲーム』 池井戸潤 著 講談社文庫 B913-イ

私が今回紹介したい本は池井戸潤作の「ルーズヴェルト・ゲーム」です。

この作品は2014年にYahoo!検索大賞小説部門を受賞し、ドラマ化もされた有名な作品です。

そもそもこの作品のタイトルは「点を取られたら取り返し、8対7で決着する試合」を意味し、アメリカの第32代大統領のフランクリン・ルーズベルトの「一番おもしろいゲームスコアは、8対7だ」という言葉に由来しています。

この物語は不況に苦しむ青島製作所という中小企業の野球部が舞台です。監督に見捨てられ、主力選手もなくなった青島製作所の野球部。かつては名門と呼ばれていたが、ここのところ成績は低迷していた。そんな中、会社の経営は傾き、リストラ、監督交代、そして廃部の危機にさらされています。

私はこの作品の面白いところは野球と人生、企業の経営が重ねて語られているところだと思います。作品を通して、人生は野球における打撃戦であり、主人公たちの取られたら取り返しという強い心を感じ取ってほしいです。普通とは違うスポーツ小説を読みたい人にお勧めです。

3年 男子図書委員